

畜産・家畜衛生分科会 第1回分科会 議事録

1. 日時：2019年7月30日（木）16：30～18:00
2. 会場：JICA 本部（麴町）113 会議室
3. 参加者：55 名（TV 会議による出席者 9 名含む）
4. TV 会議接続：JICA 札幌、帯広、東北、中部、中国、モンゴル事務所

=====

【概要】

- ・ JICA 山田上級審議役より、畜産・家畜衛生分野に係る分科会の開催について、「同分野の関係者の再集結」という言葉を用い、途上国における同分野への協力の意義、本分科会のネットワークの活用について述べられた。
- ・ 農林水産省 消費・安全局 動物衛生課 熊谷課長から日本を取りまく家畜疾病の現状とご自身の JICA および同省での業務経験を基に産官学の連携の意義が述べられた。
- ・ JICA 農村開発部 渡辺専門嘱託より、JiPFA と本分科会の趣旨、2019 年度活動計画について説明を行った。
- ・ 帯広畜産大学 井上理事／副学長が、大学による国際協力の取組みと JICA の産官学連携への期待と題し、帯広畜産大学の役割とこれまでの JICA との連携事業、および JiPFA への期待も含めた発表を行った。
- ・ オリオン機械株式会社 金子常務取締役／海外事業本部長より、タイで実施中の JICA 普及・実証・ビジネス化事業（中小企業支援型）の活動、成果、および JICA 事業活用のメリットについて説明を行った。
- ・ 国際航業株式会社 海外コンサルティング部 齋藤 様から、2019 年 7 月に終了したモンゴル農牧業バリューチェーンマスタープランプロジェクト詳細計画策定調査にて立案したパイロット事業イメージが紹介された。
- ・ JICA 南アジア部 國武職員からインドにて実施中の円借款「酪農開発事業」の紹介が行われた。

【質疑応答】

- Q1：JICA の畜産分野における活動は、主に大動物を対象とした家畜疾病や畜産振興が多い印象だが、生産と収入の周期性が早く日本国内のみならず世界的にも畜産における優等事例（システム、価格等で）と言える養鶏業の位置づけや今後の活動について教えてほしい。
- A1：途上国における養鶏業の重要性に関しては認識しており、途上国からのニーズは一定量ありこれまでも日本国内での研修（課題別研修）を実施した実績がある。しかし、途上国の養鶏業に適した技術の協力ができる日本国内のリソース確保をどのように行う

かという課題もあるが、今後もニーズに沿ってどのような取り組みができるかを検討する必要はあると考えている。

Q2：途上国における畜産分野での活動について、集約化された大規模な経営形態と庭先における小規模な経営形態のいずれの方向に進むのか、或いは両方をミックスした展開に進むのかどのようにお考えか。

A2：おそらく答えはないが、各国に元々あった伝統的文化、畜産形態、適した家畜（品種）を尊重しながら、一番効率よく経済的に適正な形態がその国にとって正解になるのかと考える。支援にあたってはこちらからの押し付けでなく一緒に考えていくのが良いと考える。

Q3：JICA 事業では、大動物（牛、水牛など）に偏りがちであるが、途上国では小反芻獣（山羊や羊）の飼養頭数が増加している。特に貧困削減やジェンダー等の課題に対し酪農の貢献度は高く、今後の活動に盛り込んでいく必要はあると考えるがどのようにお考えか。

A3：先の養鶏と同じように過去に課題別研修で小反芻獣も対象にしてきた経緯はある。今後、どのような形で協力を展開するかについては検討したいと考える。

Q4：JiPFA の他分科会にフードバリューチェーン（FVC）があるが、今回の畜産・家畜衛生分科会とはどのようなデマケなのか、その整理について教えてほしい。

A4：JiPFA の各分科会は、それぞれ農業サブセクターや地域の全て網羅している訳ではなく、また一部重複もあり得る。例えば、FVC については、アセアン、中南米、アフリカの 3 分科会があり、また本日紹介したモンゴルバリューチェーン案件は畜産分科会が担当となっている。いずれにしても農村部内で主催していることからそれぞれの分科会で情報は共有し連携することになっている。皆様におかれましては、JiPFA の HP や JiPFA 事務局からのメールにてテーマをご確認頂ければありがたい。

Q5：途上国における屠殺場は一般的にどのような状況か教えてほしい。

A5：モンゴルの例では、食肉全体の 10%程度しか正規の屠殺場で処理はしておらず、残りの 90%は伝統的な方法（屋外）にて処理している状況と聞いており、まだまだ日本のように家畜疾病の検査や処理場の衛生管理等まで対応していないのが現状と考える。

コメント：JiPFA 畜産・家畜衛生分科会事務局からですが、更なる質問や今後分科会で取り上げてほしいテーマがあれば是非お教えいただきたい。

連絡先：畜産・家畜衛生分科会事務局 JICA 農村開発部第 2 チーム 渡辺 剛智

E-mail : Watanabe.Taketoshi@jica.go.jp Tel: 03-5226-8446

以上